

(問1) 貴社名・ご回答者の所属・氏名・連絡先等について、ご記入ください。

--	--

赤字：回答数およびコメント

(問2) 貴社が該当する業種分類について、ご記入ください。

		回答数
※複数回答可	[] ア 土木工事施工（水道工事含む）	ア 29
	[] イ 管更生工事施工	イ 17
	[] ウ 管路点検・調査	ウ 11
	[] エ 管路メンテナンス（清掃・浚渫等）	エ 8
	[] オ 機械・電気設備（マンホールポンプ及び雨水調整池）	オ 3
	[] カ 処理施設メンテナンス（浄化センター維持管理等）	カ 6
	[] キ 設計コンサルタント	キ 6
	[] ク 窓口・受付業務	ク 4
	[] ケ 電子計算処理業務（台帳管理等）	ケ 4
[] コ その他	コ 4	
コ その他		
(自由記述)		

(問3) 参入意向について、ご記入ください。

本市では管路施設、マンホールポンプ、雨水調整池、処理施設を含めた施設についての維持管理業務、修繕・改築業務、排水接続業務、付帯業務（受付等）をウォーターPPPの業務範囲として想定しております。現時点でウォーターPPPに参入する意向はありますか。該当するものに「○」をお願いします。なお、ウォーターPPPの概要や本市の施設概要については、別添『事業概要書』、詳細な想定業務範囲については（問4）の表をご確認ください。

		回答数
(該当項目に○)	[] ア 参入したいor検討している ⇒問4へお進みください	ア 37
	[] イ 参入意向はない ⇒以下へ参入意向がない理由を記入してください。	イ 6
(自由記述)	<p>記入例) 事業規模が小さいため、参入したくない。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・事業規模が小さいので、参入できるか正直分からない ・事業規模が小さいため、参入したくない。 ・建設コンサルタントの業種部門登録（下水道）がなく、また、資格保有技術者の配置ができないため。 ・弊社の規模では無理だと思います ・会社方針で参入を決めておりません。 ・アドバイザー業務に参画予定のため。 	

※参入意向がない場合、以降の回答は、不要となります。ありがとうございました。

(問4) ウォーターPPPの対象範囲の確認について、ご記入ください。

ウォーターPPPの業務範囲として対応可能で参入したい業務に「○」、対応不可能又は参入したくない業務に「×」、どちらでもない業務は「空欄」として記載してください。
また、下記の表に記載されているもの以外で対応可能で参入したい業務がある場合には、最下部の自由記述へ記入してください。

※表内の数字は、○の回答数

大分類	中分類	管路施設		マンホールポンプ	雨水調整池	処理施設	備考
		公共下水道(汚水)	公共下水道(雨水)	公共下水道(汚水)	公共下水道(雨水)		
		農業集落排水・コミュニティプラント	農業集落排水・コミュニティプラント		農業集落排水・コミュニティプラント		
維持管理業務	計画的な点検・調査	14	12		14	6	更新計画に基づく計画的な点検・調査
	清掃	12			14		管路施設(ポンプ・サイフォン、雨水幹線含む)、雨水調整池
	保守・点検・管理		3		4	2	受付・現地確認含む(昼間、夜間、土日祝日)
	樹木管理・除草				16	14	施設内の剪定や草刈り
	緊急的な清掃	14	7		15	10	受付・現地確認含む(昼間、夜間、土日祝日)
	緊急的な修繕	17	6		14	12	受付・現地確認含む(昼間、夜間、土日祝日)
修繕・改築業務 ※耐震対策含む。	更新計画作成	4	4		4	3	ストックマネジメント計画の適切な更新
	実施設計	7	7		7	5	計画的な修繕・改築、耐震対策(マンホール化整備含む)
	CM業務	4	3		3	3	コンストラクションマネジメント
	計画的な修繕	28	18		25	19	更新計画に基づく計画的な修繕(比較的小規模なもの)
	計画的な改築	23	15		19	18	更新計画に基づく計画的な改築(比較的大規模なもの)
排水接続業務	排水設備申請等事務	13					排水設備、承認工事、指定工事店、利子補給等に関する手続き
	公共共す・取付管設置事務	14					単価契約、受付、発注、完了、検査に関する手続き
	取付管工事	26					申請に基づく取付管の施工
	排水設備検査	17					検査、指導
	管渠布設工事	25					未整備路線の管渠延伸
付帯業務	受付			5			窓口・電話(昼間、夜間、土日祝日)、担当者への取り次ぎ
	埋設照会			4			窓口、電話、FAX
	台帳(GIS)管理			8			竣工図等のデータ入力
	下水道接続PR			8			個人宅等への接続PR・ビラ配布、無断接続確認

上記の表以外で対応可能で参入したい業務がある場合には記入をお願いします。

(自由記述)	<p>記入例) ノウハウがないため、処理施設(農業集落排水、コミュニティプラント)を除いた分野で参入したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は実績がないものでも、また○がうってない項目もあるが、参入するために色々な可能性をはかりたい。 ・修繕・改築業務の計画的な改築で比較的大規模なものとは、具体的にどれくらいの規模でしょうか? 規模によっては不可です ・空欄部分はノウハウがないため、業務内容が明確にわかるまでは○×判定は保留としたい。 ・ウォーターPPPにおいて維持管理業務を実施できないか検討段階です。維持管理項目については現状の維持管理業務のノウハウで取組可能な内容を○としました。 ・更新計画作成に当たっては、当社対応範囲に限られる場合もあります。 ・現世帯数約58000世帯に対する排水設備申請の大部分は水道業者によるものです。水道業者の考える視点が必須であると思います。 ・当社はゼネコンであるため、比較的大規模な更新工事が含まれることが参加要因となりますが、今後の事業方向性を考慮し検討していきます。 ・当社はコンサルタント業務や下水道台帳システム関連業務(構築・保守・運営)、台帳整備業務を対象に参加を検討中です。
--------	--

(問5) 参入形態（単独、SPC、JV）の確認について、ご記入ください。

問4で回答頂いた業務範囲について、業務を複数年（10年間）で一括発注した場合、単独、SPC、JV等、いずれかの形態で参入することは可能ですか。

		回答数
(該当項目に○) ※複数回答可	<input type="checkbox"/> ア 単独として <input type="checkbox"/> イ SPCとして <input type="checkbox"/> ウ JVとして <input type="checkbox"/> エ 検討中	ア 3 イ 14 ウ 18 エ 21
選択理由や補足の記入(自由記述)	記入例) 他企業とのマッチング等の機会を設けて頂きたい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサル会社等他企業と組んで参入したい ・仕事内容、規模が大きすぎるため、SPC又はJVなら参入可能であると考えています。 ・業務量が明確でないため現時点では判断できない。 維持管理業務を考慮すると地元企業レベルであれば、管理等専門業者とのJVやSPCが実行可能性が高いのではと現時点では考えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・一部の業務では単独での参加も可能ですが、SPCやJVその他の事業体に加加入しての参加も可能で、かつ単独以外の参加も希望しています。 ・他企業とのマッチング等の機会を設けて頂きたい。 ・参入する際は、当社単独での対応は不可能なため、SPC、JVいずれかを構成する必要があると考えます。 ・SPC・JVでも対応可能ですが、参入可能な業務が限られるため状況に応じて検討いたしたく存じます。 ・当組合は国が認める随意契約の出来る団体です。ぜひ他企業とのマッチング等の機会を設けてください。 ・JVとして参入を検討します。 ・当社はSPC、JVいずれも参加検討可能です。 	

(問6) 参入形態（代表企業、構成員）の確認について、ご記入ください。

問5で「イ SPCとして」又は「ウ JVとして」を回答した場合について、問4で回答頂いた業務範囲の場合、代表企業が構成員のどちらで参入することを希望しますか。

		回答数
(該当項目に○)	<input type="checkbox"/> ア 代表企業として参入したい <input type="checkbox"/> イ 構成員として参入したい <input type="checkbox"/> ウ 検討中	ア 5 イ 15 ウ 12
選択理由や補足の記入(自由記述)	記入例) 他企業とのマッチング等の機会を設けて頂きたい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・特に、工事以外の分野の他企業とのマッチングの機会を設けていただきたい。 ・どういう形でもよい。参加したいと考えています。 ・当社が対応可能な業務範囲に限られる為、他参画企業とのマッチングにより、参入方法を検討する必要があると考えています。 ・他企業とのマッチング等の機会を設けて頂きたい。 ・比較的大規模な更新工事が含まれると、当社が参画する優位性があると考えます。 ・当社の担当を想定する業務は本事業の一部であるため、構成企業としての参画を検討しています。 	

◆ウォーターPPPの要件

ウォーターPPP（レベル3.5）としては、次の全ての事項を充足する必要があります。以

降は、当該要件に関するご質問をさせていただきます。

- ① 長期契約（原則10年間）
- ② 性能発注
- ③ 維持管理と更新の一体マネジメント
- ④ プロフィットシェアの導入

（問7）契約期間について、ご記入ください。

契約期間は原則10年とされていますが、問4で回答頂いた業務範囲について、10年間の実施は可能ですか。

回答数

<p>（該当項目に○）</p>	<p>[] ア 可能 [] イ その他 ⇒適当と考える期間や理由があれば、下記へ記入してください。</p>	<p>ア 25 イ 12</p>
<p>（自由記述）</p>	<p>記入例）〇年（人材確保が困難なため。）</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・5年（人材確保が困難なため。） ・3年（人材確保や資材価格、人件費の高騰などが心配） ・3年（人材確保が困難および希望金額になるか分からない） ・長期的な人材の確保が不明なため ・現段階では実施可否の判断は困難です。 （施工体制の維持や採算性の確保が不透明なため） ・工事等は可能であると考えますが、清掃規模及び頻度や事務内容がイメージできないため、人材確保の検討ができないので判断できない。一例として、導入はじめは短期間でスタートし、状況を見て長期間に移行していく。 ・契約期間が長期の10年間での参加も可能ですが、契約期間中の労務や資材単価の変動、情勢や維持管理の工法などの変化に対応してることが懸念材料ではあります。期間についてはこちらから指定できるものではありませんが、経験上5年程度が妥当かと思えます。 ・総合・統括的な分野の事業は10年でも良いかもしれないが、小規模修繕や排水接続等の実務は、単年度契約から段階的に年数を引き上げる。 ・柔軟な技術者配置が可能であれば、10年間の実施は可能であると考えます。 	

(問8) 性能発注について、ご記入ください。

発注方式は、性能発注を原則とすると設定されていますが、どのような性能発注を希望されますか。貴社のご意見があれば、ご記入ください。

<p>(自由記述)</p>	<p>記入例) 管路施設について、人員、時期、方法等は、受託者に委ねた上でストックマネジメント計画に基づき、適切に法定点検（下水道法施行令第5条の12）を実施すること。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">・管路維持の上で、陥没等の要求水準は、明確な水準を設定することが困難であるため、仕様発注とすること。・何かトラブルがあった時に責任の所在がはっきりするように、かなり具体的な性能要求を示していただきたい。性能要求が曖昧だったり大まかすぎると、発注者と受託者の性能要求に乖離がでて問題にならないか。また設計・提案・計画に関しては発注者のほうでコンサル会社を決めていただいて、施工は地元の建設会社と、JVまたは特別企業体を組んでPPP事業を行うなど。・おそらく最初のうちは、ノウハウがないため通常の仕様発注に基づき徐々に性能発注に移行していくのが、理想と思われます。・性能が満たされているという判断基準や第3機関等の判定等の何かしらの明確な基準がなければ受注業者により性能発揮レベルが異なってしまうのではないかと。資格要件なども明示いただくと検討の参考になります。・しばらくは、仕様発注形態に依存しつつも、段階的に民間企業もレベルを上げないと継続することが、非常に困難では無いかと懸念しています。・意見なし。発注者の求めに応じて対応。・記入例のように設定していただくことを希望します。・以下、全て管路施設についてです。 管路の劣化状況等が不明な事と今後の改築計画等も不明であるため道路陥没件数等を単純に指標として適用するのは困難である。 本管点検・調査実施率や清掃・洗浄の実施率は導入も簡易的である。 維持管理情報の管理システムなどがあれば、段階的に管きよの詰まり事故発生件数等についても導入は可能と考える。 導入する性能規定によっては減点指標だけでなくそれを相殺する加点指標も取り入れてほしい。・管路施設について、人員、時期、方法等は、受託者に委ねた上でストックマネジメント計画に基づき、適切に法定点検(下水道法施行令第5条の12)を実施すること。・性能発注方式は、委託者が求めるサービス水準を明確にする必要がある為、MP・調整池等の機電設備に関しては、既設より簡易・安価な設備が納入されてしまい、今後の維持管理・メンテナンスへの負荷が増大する事の無いよう、ある程度詳細な指示が必要と考えます。・施設の能力不足や老朽化、豪雨などの自然災害におけるリスク分担を明確にいただき、利益のみをシェアする形とならぬようご配慮いただきたく存じます。・下水道法に基づくだけでは、稲沢市の事業として片手落ちであると言わざるを得ません。下水道法、水道法に基づく、上下水道事業としての枠組みが必須であると考えます。これは、現在の料金徴収方法も上下水一括である事を踏まえても、スムーズな移行には不可欠な要因であると思えます。・発注者の要求と受注者の創意工夫を一致させるため、仕様発注から段階的に性能発注に移行したい。・当社が担当を想定するコンサルタント業務においては意見はございません。性能発注の影響が大きい維持管理業務につきましては、担当外のため回答を控えさせていただきます。
---------------	--

(問9) その他、ご意見があれば、ご記入ください。

(自由記述)

・地域の建設会社として、地域のライフラインを守っていく責務があると感じています。10年間というスパンで受注の機会が失われると、今後の下水管の維持修繕工事のノウハウも失われて緊急時や災害時での対応ができなくなってしまうのではないかと危惧しております。経済的な面だけでなく、総合的に判断していただき公募要件等検討していただきたい。

・弊社は事業規模が小さいので、参入された受託者の発注で下請に入る可能性が高いと感じています。地元企業も受注出来る仕組みを取り入れて頂きたいです。

・受付事務などの人員確保が必須の内容を考慮すると、契約後から業務開始までの準備期間が必要かと考えます。また、受付事務などの場所は受注業者で準備するのか、市の施設で固定で行うのかなども人員確保の上で必要な情報かと考えます。特にウォーターPPP開始初年度においては、工事以外の内容に関するマニュアル等、業務内容(業務量)が明確なものと判断しやすいと考えます。

・実施方式としては「更新支援型」を希望。ただし、「更新実施型」となった場合も参入意向あり。

・会社として取組可能か検討段階であるため、同様の事業の実績はありませんが、引き続き意見交換の機会を頂けたら幸いです。

・性能発注につきましては、代表企業としての参加ではありませんので、性能発注については言及することは適切だとは考えていません。

・具体的な説明会があるとよい。

・弊社の実績が下水道が中心のため、地元建設業界の協力と専門分野に関しては、コンサルタント・専門施工業者の協力を得られれば上下水道の対象も可能と考えます。

・ウォーターPPPについての説明会を実施頂きたいです。また、参入希望企業とのマッチングの機会を何らかの形で設けて頂けると大変ありがたいと思います。また、当調査票に限らずヒアリング等により、同市PPPに対する理解度向上・対応を行いたいです。

当社としましては、ウォーターPPP導入による改築工事の発注形態の変化を懸念し、レベル3.5(更新支援型)導入が望ましいと考えます。

・背景に記述されている通り、今後の重要施策と考えています。しかし、民間事業者は官と比較し、運営・責任能力に格差や限りがあり、市民に均一で安定したインフラ供給の為には、その点の検討・対策も必要ではないでしょうか？またこの様な背景を、市民(受益者)も共に考え、行動し、支えていくことの重要性を、PRしていかなければならないと考えます。

・今後に向けて熟考したいので、是非引き続き検討したい是非に事例を参考に検討したい。

・現段階では検討材料が少ないため、アンケートや対話を通じて詳細を詰めて参画を検討していきたい。

・可能であれば、現在の業務委託状況と受託者、対象となる既存施設(電気、機械)のメーカーについてご教示下さい。

・当組合としては、地元の業者で受注できるように公募していただきたいと思います。

・当組合で、会員の皆様と現場経験や設備、人材の能力を平均すると問4に記載した形が、一般的な解答になると思われます。

・災害時には常時備蓄してある組合資材を提供できますし、組合独自でも取引している商社・メーカーからの支援を受けられます。

全国管工事業協同組合連合会(全管連)に所属する団体ですので、バックボーン及び災害時対応は、全国からの金銭的補助・人的補助が受けられます。当組合は阪神淡路大震災では単独で、東日本大震災、熊本地震の際にも全管連を通じて、支援を行いました。当地区が被災しても、同様に支援が受けられます。

ご回答いただき、ありがとうございました。